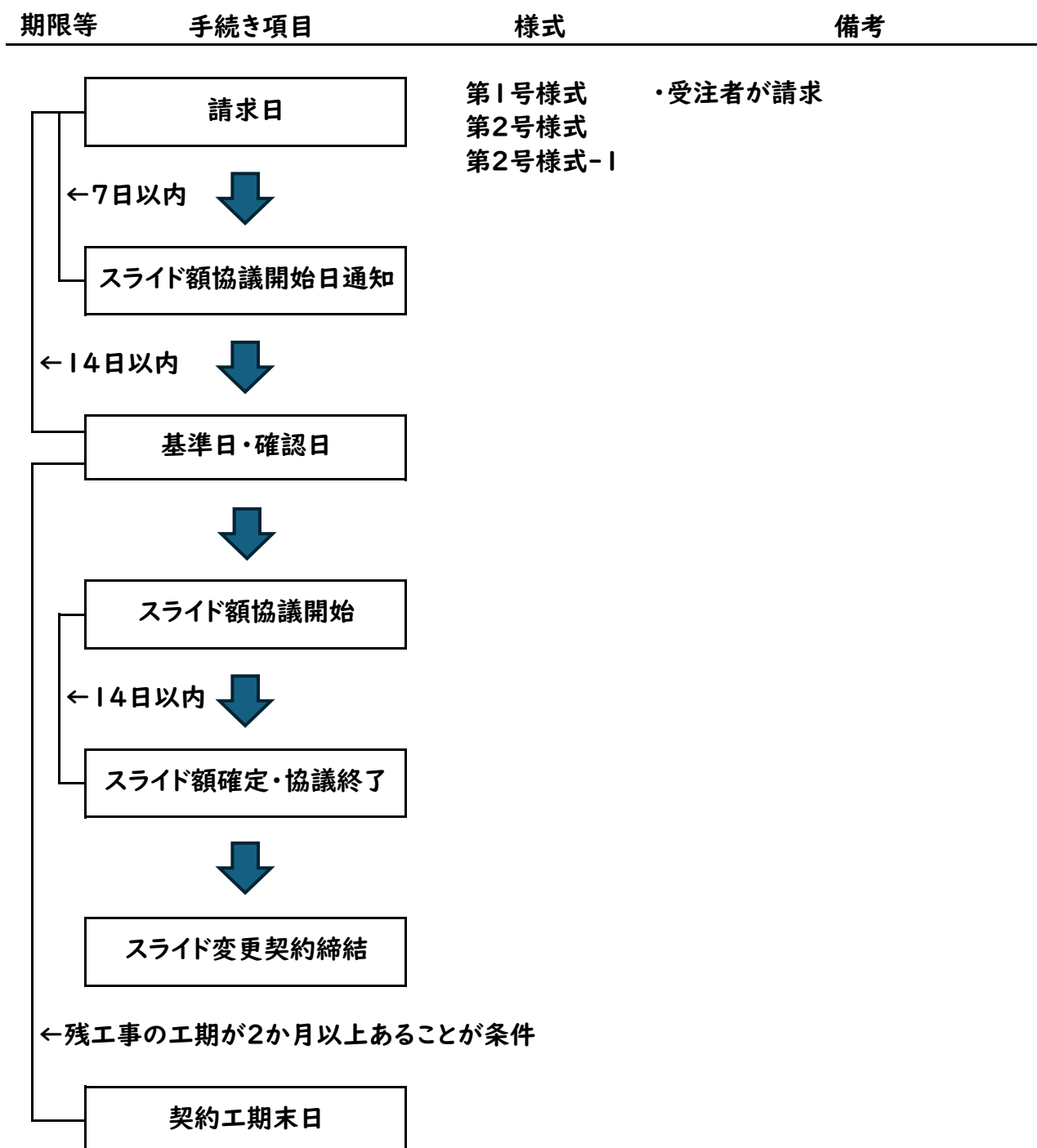


## ◎インフレスライド手続きフロー

【インフレスライド】・・・急激な価格水準の変動に対応する

- ◎対象条件・・・
- ① 残工事の工期が基準日から2か月以上あること
  - ② 発注者及び受注者によるスライドの適用対象工事の確認時期は、賃金水準の変更がなされた時（年度当初の労務単価改定時期）とする。



(宛先) 春日井市長

②

住所

氏名

印

春日井市工事請負契約約款第 26 条第 6 項に基づく請負代金額の変更について（請求）

⑤

(概算変動前残工事代金額とは、請負代金額から希望基準日における出来形部分に相応する請負代金額を控除した額)

※ 工期又は工事内容の変更について先行指示があるが、契約変更が済んでいない場合には、その旨を確認するための資料を添付する。

① 請求日を記入する。

② 市長の氏名を記入する。 ※「様」等の敬称は不要

③ 請求する受注者の住所氏名等を記入する。

④ 契約締結日を記入する。

## 5 工期

・契約書に明示してある名称等を記入する。

## 6 基準日(希望)

7 残工事量等確認日(希望)

8 協議開始日(希望)

## 10 概算變動前残工事代金額

・第2号様式「PI」

第2号様式

概算スライド額調書  
(新規・再提出)

|   |                             |                            |
|---|-----------------------------|----------------------------|
| ① | 工 事 名                       |                            |
|   | 路 線 等 の 名 称                 |                            |
|   | 工 事 場 所                     |                            |
|   | 請 負 代 金 額                   | 円 (税抜き)                    |
|   |                             | 円 (税込み)                    |
|   | 予 定 価 格                     | ※ 円 (税抜き)                  |
|   |                             | ※ 円 (税込み)                  |
|   | 契 約 日                       | 令和 年 月 日                   |
|   | 工 期                         | 着手 令和 年 月 日<br>完了 令和 年 月 日 |
|   | 基 準 日 (希 望)                 | 令和 年 月 日                   |
|   | 出 来 高                       | ② %                        |
|   | 出 来 高 額<br>(既済部分に相応する請負代金額) | ③ 円 (税抜き)                  |
|   | 変動前残工事代金額<br>(P1)           | ④ 円 (税抜き)                  |
|   | 変動後残工事代金額<br>(P2)           | ⑤ 円 (税抜き)                  |

【増額の場合】

○スライド額 (S) = P2 - P1 - ( P1 × 10/1000 )  
(税抜き) = ( × 10/1000 )  
= ⑥

但し、P1 < P2

【減額の場合】

○スライド額 (S) = P2 - P1 + ( P1 × 10/1000 )  
(税抜き) = ( × 10/1000 )  
=

但し、P1 > P2

P1 : 変動前残工事代金額 (税抜き)  
(請負代金額から基準日における出来形部分に相応する請負代金額を控除した額)  
P2 : 変動後残工事代金額 (税抜き)  
(変動後の賃金等を基礎として算出した変動前残工事請負代金額に相応する額)

○スライド額 (S) = ⑥ × (1 + 消費税及び地方消費税率)  
(税込み) = ⑦

※ 出来高、出来高、変動前残工事代金額及び変動後残工事代金額については、概算とする。  
精査の結果によって、これらは変更となることがある。

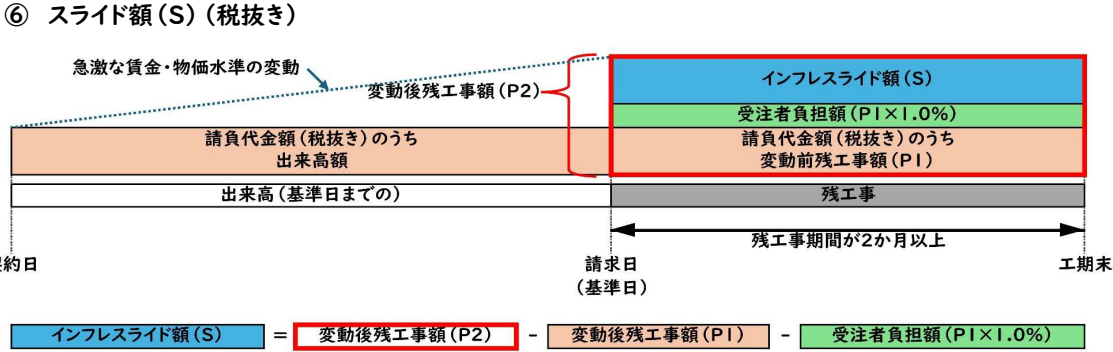
【第2号様式記入例】

- ① 工事名  
路線等の名称  
工事場所  
請負代金額  
予定価格  
契約日  
工期  
基準日 (希望)

※

・第1号様式と同じ  
  
・分からなければ未記入で良い  
・契約書に明示してある日付を記入する。  
  
・第1号様式と同じ
- ② 出来高  
③ 出来高額  
④ 変動前残工事代金額  
⑤ 変動後残工事代金額

・基準日までの工事出来高  
・基準日までの工事出来高額  
・請負代金額 (税抜き) - ③ 出来高額  
・変動後の賃金等を基礎として算出した④に相当する額



⑦ スライド額 (S) (税込み) = ⑥ × 1.1

第2号様式-1

# 書 記 内 量 事 工 残

[illegible]

注1) 設計数量には、先行指示による数量を含む。

注2) その他残工事量が確認できる資料を添付すること。

- (A)・・・対象残工事に係る契約書の設計内訳を記入する。(単価については受注者の積算単価(入札時))
- (B)・・・基準日現在の出来高数量を記入する。
- ※1 受注者の責に帰すべき事由により遅延している工種は、基準日までに施工が完了していても出来高部分に含む。
- ※2 内訳が一式計上であるが、足場等仮設工事において、掛け払いの払い(撤去部分)はしゅん工時のため、残工事とする。
- (C)・・・残工事の単価については、受注者の賃金・物価水準等変動後の単価を記入し、残工事の合計金額が「変動後残工事代金額(P2)」となる。
- (B)－(A)の合計金額が「変動前残工事代金額(P1)」となる。